

平成23年度 施策達成度評価シート (平成22年度実績評価)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
4	共に生き未来を創る教育・文化	42	いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築
施策主管部 教育委員会		評価者(施策統括マネージャー)名 萬 明夫	

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を、何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民	いつでもどこでも学ぶことができる

2 達成度

(1) 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 (年度目標値)	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
市民アンケート調査 「この1年間に何らかの学習をした」と答えた市民の割合	%	↗	39.90	56.00	39.80	56.00	60.00

(2) 近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
市民アンケート調査 「この1年間に何らかの学習をした」と答えた市民の割合	データなし

3 達成度評価結果

取組内容と成果、成果を得られた要因	<p>市のホームページに「講座募集情報」を掲載するなど、市民への学習情報の提供に努めている。また、特技や専門的な知識を有する市民を登録し、市民の学習会に派遣する「生涯学習人材サポーティングシステム」と、他の部局と連携した「もりおかまちづくり出前講座」や大学等と連携した市民公開講座を推進するなどして、生涯学習推進体制の充実に努めてきた。「もりおかまちづくり出前講座」については、20年度が95件、21年度が114件と実施件数が年々増加してきていたが、22年度は96件に減少した。また「人材サポーティングシステム事業」については、20年度が38件、21年度が31件と減少傾向を示していたが、22年度は46件に増加した。</p> <p>生涯学習推進体制は、社会教育施設が相互に連携し学習情報を提供したほか、学習相談に積極的に対応したことにより、これまでどおりの体制を維持することができた。</p> <p>学校や家庭、地域が連携し、学校支援地域本部事業などの事業にも積極的に取り組み、社会教育の充実を図ったが、財政状況の悪化や震災による事業の中止によって、実施講座数は減少した。一方で、講座受講者数については、若干増加しており、講座内容の充実や関係機関との連携の効果があつたものと考えている。</p> <p>施設について、市民の学びの場として例年と同程度の利用者数を確保できた。また、未着手部分が残っていた松園地区公民館については、建設工事を行うこととした。さらに、平成22年4月から、都南公民館と河南公民館を指定管理者制度による運営としたほか、市立図書館と都南図書館の窓口業務と移動図書館業務についても、同月から民間委託による運営とした。</p>
翌年度以降の課題、その要因	<p>まちづくり評価アンケートの結果を見ると、「この1年間に何らかの学習をした」と答えた市民の割合は、20年度が41.2%、21年度が39.9%、22年度が39.8%と減少している。これは、全国的な傾向であり、平成20年に内閣府が行った生涯学習に関する世論調査結果では、自宅における書籍やインターネットを活用しての個人の学習は増加傾向にあるものの、公民館等において団体が行う学習活動は減少傾向にある。学習をしない理由としては、「仕事や家事が忙しい」という理由が最も多く、社会経済情勢を反映しているものと考えられる。今後は、市民のニーズや社会の要請に的確に応える学習機会を提供する目的で、民間、NPO等も含めた情報のネットワーク化を図るとともに、23年度に立ち上げた学びの循環推進事業の中で総合的な学習情報提供システムの構築を推進していくこととする。</p> <p>効果的な社会教育事業を展開していくためには、市民ニーズを的確に把握し対応する必要があることから、講座受講者を対象にアンケート調査を行ってきたが、今後は、市民意識調査などを行い、受講者以外からの市民ニーズの把握に努める。また、研修や講習会への参加等により職員の実質向上に努めるとともに、他部局や民間団体などとの連携を強化し、現代的な課題についてのプログラム開発を行って講座内容の一層の充実を図るほか、講座開設の情報についても、様々なメディアを活用して周知に努める。</p> <p>施設については、市民が家庭教育及び社会教育への関心を高め、自発的に学習する環境を整備するためには、社会教育施設の安全かつ快適な管理運営が不可欠である。社会教育施設の経年劣化による老朽化による改修等を確実に実施するため、中・長期修繕計画に基づき、計画的に整備できるよう予算化に努める。また、市民サービスの向上や管理運営の効率化を図るため、指定管理者制度の導入について引き続き検討する。</p>





